



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が2014年11月18日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、11月25日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。

サノフィ、ガーリー J・ナベル最高科学責任者(CSO)を エボラ対策コーディネータに任命

元NIHワクチン研究所長としての経験を生かしてサノフィの活動を指揮し、
世界規模のエボラ出血熱対策に貢献

フランス、パリー2014年11月18日ー [サノフィ](#) (EURONEXT : SAN および NYSE : SNY) は、本日、エボラ出血熱の感染拡大に対する世界規模の対策への貢献の一環として、サノフィの最高科学責任者(CSO)であるガーリー J・ナベル博士(Gary J. Nabel, M.D., Ph.D)をエボラ対策コーディネータに任命しました。

ナベル博士の任務は次の通りです。

- 現在進行中の感染拡大を抑えるための対策を強化するためにサノフィが行えることを明らかにする
- 将来の新たな治療法の開発の機会の優先順位を定め、促進する

サノフィグローバル研究開発部門プレジデントのエリアス・ザフーニ博士 (Elias Zerhouni, MD) は「NIH ワクチン研究センター長として公衆衛生と感染症の研究を進め、NIH でエボラワクチンの開発を率いてきたナベル博士ほどの適任者は、他にいません。ナベル博士は現在、様々な組織と協力して、サノフィが持つ豊富なワクチン・医薬品開発の経験に基づき、研究者に対する助言を行うなどの活動を展開しています。今回の世界的な課題の解決に向けサノフィがどのように貢献できるかを見定めるべく、活動しています」と述べています。

現時点でサノフィがエボラ出血熱に対して実施している人道支援活動は、以下の通りです。

- 主な人道組織に対する支援
 - MAP インターナショナルによるエボラ出血熱救援活動
 - Heart to Heart International によるリベリアのエボラウイルス感染者の管理を目的とした緊急介入プログラム
 - CDC 財団の世界災害対策基金
 - フランス赤十字の READY 基金
- "Stop Hunger Now" とのボランティア活動でリベリアに 2 万食を提供

ナベル博士は、「サノフィは業界全体の仲間と連携して活動することで、エボラウイルス感染の予防と治療に向けた新治療法の開発法を見いだすお手伝いをしています。またサノフィが構築して

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp



きた科学、医学、薬事ならびに製造の専門知識を世界保健機関(WHO)、政府や NGO などと共有し、官民協力のもとで収束に向けた活動を展開しています」と述べています。

エボラ出血熱について

エボラ出血熱として知られるエボラウイルス疾患【Ebola virus disease (EVD)】は、重度で死に至ることも多い疾患です。ウイルスは野生動物からヒトに伝播し、ヒトからヒトへと伝播することで感染が拡大しています。致死率の平均値は、約 50%です。過去にみられたエボラ出血熱流行時の致死率は、25~90%と幅があります¹。

2014年11月2日現在、エボラウイルス感染の確定、可能性および疑いがある例の合計は8カ国で13,042例、うち4,818例の死亡が報告されています。米国では感染例が4例報告され、うち1例が死亡しています²。

現時点では、ウイルスを中和することが立証された承認済みの治療法はなく、各種の血液製剤、免疫治療薬や薬剤の開発が進んでいます。現時点では、承認済のエボラワクチンはありませんが、2種類のワクチン候補が評価の段階にあります¹。

以上

サノフィについて

サノフィは、グローバル事業を統合的に展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において7つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィはパリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関するFDAやEMAなどの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィの2013年12月31日終了事業年度フォーム20-F年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成したSECおよびAMFに対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。

¹ Ebola Virus Disease Fact Sheet. World Health Organization. <http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs103/en/> Accessed Nov. 7, 2014

² Ebola Response Roadmap Situation Report. World Health Organization. http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/137510/1/roadmapsitrep_5Nov14_eng.pdf?ua=1. Accessed Nov. 7, 2014.